No. 87
ご自由にお持ち帰りください
TAKE FREE

TSUNAGU

つなぐ

みんなと議会を



やない議会だより

2026
10
22



Point

定例会ハイライト……P 2−3
一般質問……P 4−7

History Travel!!

重要文化財国森家住宅

【つなぐ】では議会だよりに関するアンケートを実施します。
10ページのQRコードからご回答をよろしくお願いします。

議会をのぞいてみよう！

検索 柳井市議会公式チャンネル

令和8年第3回定例会

3月 | 6月 | 9月 | 12月

9月 定例会ハイライト

今定例会は、９月２日から９月 18 日までの 17 日間の会期で開催しました。
初日は、議案 13 件、認定２件、諮問１件、報告７件及び陳情２件が上程されました。
９月３日には、議員提出議案１件が上程されました。
最終日には、認定５件及び報告４件が上程されました。

会期日程の詳細→　議案等の詳細→　審議結果の詳細→

Pick Up

01 議員提出議案第１号 上関町の使用済み核燃料中間貯蔵施設建設計画に反対する決議

本議案は、令和８年第２回定例会において採択された「上関の使用済み核燃料中間貯蔵施設建設計画への反対決議を求める請願書」を受け、決議文を提出するものです。
採決の結果、起立多数で可決と決しました。
決議文は以下のとおりです。

上関町の使用済み核燃料中間貯蔵施設建設計画に反対する決議

本市に隣接する上関町において、中国電力株式会社が計画している使用済み核燃料中間貯蔵施設建設については、地域住民の安心・安全、地域の環境や将来への不安等々、多岐にわたる懸念が存在している。

2026 年３月議会に上関の中間貯蔵施設を考える周防住民の会から「上関の使用済み核燃料中間貯蔵施設計画への反対決議を求める請願書」が提出された。それを受けて柳井市議会は慎重に審査し、６月議会において市民の不安と反対の意思を真摯に受け止めるべきであると判断し賛成多数で採択した。

中間貯蔵施設は、放射性物質を含む使用済み核燃料を長期間にわたり保管する施設であり、未来を生きる子どもたちへの影響をも見据えた判断をするのが柳井市議会の使命である。

請願の審査の結果や将来世代への影響を考えるなら、使用済み核燃料の中間貯蔵施設から発生するリスクを受け入れることは到底容認できない。

よって柳井市議会は、次の通り決議する。

上関町の使用済み核燃料の中間貯蔵施設建設計画に反対する。

2026 年９月３日

柳井市議会

賛成　アンケートや署名に託された「中間貯蔵施設はいらない」という市民の切実な願いを議員は受け止めなければならない。中間貯蔵施設ができてしまったら、心の隅に不安を抱えながら暮らさなければならない地域になるのではないか。

賛成　最終処分の仕方が定まっていない中で進めていくことこそ愚行ではないか。

賛成　何も分からないから皆さん不安になっている。何も分からないからこそ建設計画に反対である。

反対　市議会議員であるなら、情報をできるだけ多く手に入れ、吟味し、その上で慎重に判断するべきである。説明を求める請願も採択されていることから、まずは説明を聞く機会を作ることこそが順当な進め方ではないか。

反対　建設計画に反対する市民も多いと思われ、反対する気持ちも十分理解している。しかしながら、国や事業者の説明もない今の状態で建設計画反対とするのは時期尚早であり、賛否を判断する材料もないため本議案に反対である。

反対　事業計画の説明がなく、どういうものを作るのか分からない状態での審議がされてきた。議会は現実的なものを審議する責任があるのではないか。

反対　説明を求める請願を採択した一方で、説明を受ける前に反対の意思を決議することが適切であるのか。また、上関町では町長選挙も控えている。計画をめぐる状況が流動的な中で、現段階で反対決議を行うことは時期尚早ではないか。

令和８年９月定例会で賛否が分かれた議案等 賛：賛成　否：反対　欠：欠席 ※議長は表決に加わりません	審議結果	各会派議員の賛否							賛否数	
		柳井市民クラブ	新政クラブ	政友クラブ	政和会	柳翔会	柳進会	一人会派	賛成	反対
		中本英宏 ジョンソン彩奈 友座泰	中川隆志 坂ノ井徳	田中晴美 藤沢宏司	山本達也 平井保彦	斉郷龍一孝 岡	佐々木久美 山本澪馬	長友光子 三島好雄 平岡実千男		
【議案第 38 号】 令和８年度柳井市一般会計補正予算（第２号）	可決	賛 賛 賛	否 否	賛 賛	賛 ※	賛 否	否 賛	賛 否 賛	10	5
【議員提出議案第１号】 上関町の使用済み核燃料中間貯蔵施設建設計画に反対する決議	可決	否 賛 賛	賛 賛	否 否	否 ※	否 賛	賛 否	賛 賛 賛	9	6

市政を問う!!

一般質問

7人が質問しました

QRコードから一般質問の動画を見てみよう！



一般質問って？

議員が市の施策の状況や方針、市民生活に関わる課題などについて、市長や執行部の考えを質問したり、政策を提案することを一般質問といいます。

質問時間は1人60分までです。



新政クラブ
坂ノ井徳 議員

交流人口を増やして柳井をもっと活気あるまちに

柳井市の存在をアピールするために

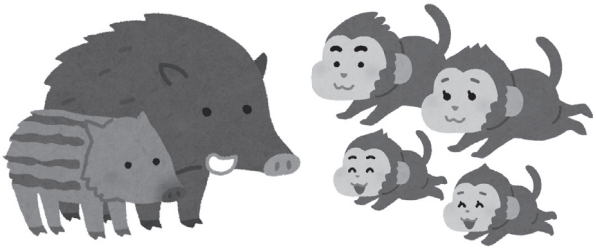
Q　交流人口を確保して賑わいを取り戻していく方策について伺う。

A　本年は、柳井金魚ちょうちん祭りで生まれた大きな人の流れや、やまぐちフラワーランド開園20周年を契機とした賑わいに加え、10月からの山口デスティネーションキャンペーンと、同時期に放送されるＮＨＫ連続テレビ小説「ブラッサム」など、本市の魅力を全国に発信し、多くの方に本市を訪れていただく大きなチャンスが重なっている。この好機をしっかり捉え、「また来たい」と思っていただけるよう取り組んでいく。

鳥獣対策を強化するための策について

Q　サル、イノシシ等の今後の対策を伺う。

A　本市では、捕獲、防護、環境整備の３つを柱に総合的な鳥獣被害対策を進めている。まず、捕獲対策として、引き続き猟友会と連携し捕獲に取り組んでいく。特にサル対策として、大型囲いわなの活用を進めており、令和８年度は余田院内地区に１基設置する計画としている。次に、防護対策として、個々の農業者による防護に加え、地域ぐるみで取組を進めており、伊陸西部地区の久可地、旭周辺において、地域の農地を一体的に守る県営鳥獣被害防止柵設置事業を計画している。環境整備としては、地域と連携しながら、鳥獣が身を隠したり、餌を得たりしにくい環境づくりを進めていく。





柳進会
山本 澪馬 議員

総合計画を
もっと身近に！

柳井市総合計画について

Q　総合計画とはどのようなもので、私たちの暮らしとどう関わっているのでしょうか。

A　総合計画は市が実施するあらゆる分野の事業、施策、個別計画の根拠となるものであり、今後 10 年にわたるまちづくりや行政サービスの方向性を示す、市民生活に密接に関わる極めて重要な指針である。

Q　現在の第２次総合計画において、市民の皆様から寄せられた意見がどのように反映されましたか。

A　市民意識調査、審議会、市民懇談会、パブリックコメント※1等を通じて、市民から様々な分野において意見をいただき、その意見を一つひとつ丁寧に検討し、可能な限り計画に反映させてきている。

パブリックコメント※1
市の重要な施策や条例などを決めるときに、事前にその案を広く公表し、市民から意見を募集する制度。

Q　現在、策定中の第３次総合計画に広く関心を持っていただくために動画を活用して周知に努めるお考えはありませんか。

A　市民参画を促すに当たり情報発信は重要であり、行政情報を効果的に発信する手段については、引き続き、動画による情報発信を含め、調査・研究していく。





柳翔会
斉郷 孝 議員

子どもが
安心してすごせる
児童クラブを

現在の児童クラブの設備環境について

Q　柳井児童クラブは、定員を超えており、児童や支援員のためにも、足らない設備を充足するなど改善するべきではないですか。

A　利用児童数の推移や利用実態を適宜把握するとともに、施設の状況や支援員等の配置状況等を総合的に検証し、適切な環境となるよう、受け入れ方法や施設環境の改善について検討していく。

Q　新庄児童クラブは２階にあるので、玄関で不測の事態が起きた時に、玄関を通らずに避難できる手段が必要ではないですか。

A　建物の構造上の制約や日常の児童クラブ利用への影響等も踏まえ、施設全体の総合的な安全対策の中で検証していきたい。



みどりが丘フェスタ（旧市民活動フェスタ）について

Q　市民と行政の協働による企画運営を担う実行委員会を作らないのはなぜですか。

A　形式上の実行委員会は設けていないが、主催者側と参加団体がそれぞれの役割と責任を担い、参加団体による話し合いのもとで調整・決定する協働の仕組みをもって運営することとしている。来年度のみどりが丘フェスタに当たっては、評価委員会からも市民参画のもとで進めていくべきという指摘があった。次年度以降の開催に向けては、関係者と共通認識を図る機会を設けるなど運営の在り方について検討していく。

その他の質問

▶指定避難所の環境について



公明党
三島 好雄 議員

市民相談活動の中での疑問について

クマ撃退スプレーについて

Q　クマ撃退スプレーについて市はどういう見識を持っているのか。

A　適切な製品を正しく使用すれば、クマとの近距離での遭遇時に危険を回避する有効な手段の一つと認識している。しかしながら、まずは、クマに出会わないための対策を講じることやクマを発見した際に刺激しないよう安全な距離を確保しながらその場を離れることが基本である。クマ撃退スプレーを携行する際には、国の推奨要件を参考に適切な製品を選び、使用方法や保管方法、使用期限などを十分に確認するよう周知を図っていく。



今後の柳井市の課題について

Q　東洋経済新報社調べの住みよさランキングで柳井市が全国編で21位、中国・四国編で3位だった。今後の柳井市の課題は。

A　一定の評価をいただいたと認識しているが、ランキングの背景を分析すると、引き続き地道な取組が必要ということに行きつく。今後の課題としては、人口減少に伴う諸課題をはじめ、老朽化するインフラや公共施設等の更新、医療体制の維持など多岐にわたっている。今後も、一層の努力を重ね、全ての世代が心豊かに暮らす「幸せのまち」の実現に向け、全身全霊で取り組んでいく。



日本共産党
長友 光子 議員

国保の「子どもの均等割」を０にして、子育て支援を！

国民健康保険税の子どもの均等割について

Q　収入のない子どもにもかかる不条理で、子育て支援にも逆行する「18歳までの均等割」は、全額免除するべきではないでしょうか。

A　健康保険法等の一部を改正する法律が公布され、令和９年４月１日から均等割５割軽減の対象が高校生年代まで拡充される。本市においても、これに伴う議案を提出する予定としている。国民健康保険は、都道府県単位で保険料水準の統一を進めており、市単独での軽減措置は慎重に検討する必要がある。一方で、子どもに係る均等割の軽減拡充は全国知事会や全国市長会から国への要望が続けられており、今回の拡充につながったと考えている。全国知事会では、５割軽減では十分とは言えないとして、さらなる拡充を求める活動が行われることとなっている。

Q　基金を使って全額免除しませんか。

A　基金は、制度変更等により被保険者全体に大きな影響がある場合に備えるもので、恒常的な投入は想定していない。



自衛隊への18歳市民の４情報提供について

Q　名簿提出の義務はないため、個人情報を保護する立場に立ち、本人の同意なしの情報提供はやめるべきではないでしょうか。

A　現行法令及び国の見解に基づき、４情報を提供する事務を行っているが、市として適切な個人情報の管理に十分配慮していく。また、令和７年12月から申出により情報提供から除外する制度も導入している。



新政クラブ
中川 隆志 議員

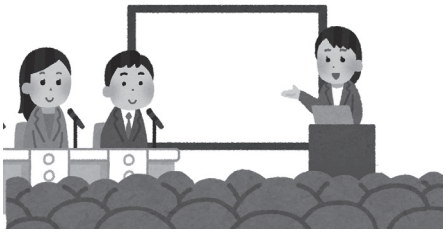
上関町の中間貯蔵施設建設計画について市長の判断は

有識者による説明会について

Q　中間貯蔵施設建設計画に反対する有識者の説明会を開くつもりはあるか。

A　反対・推進それぞれの立場からの話を聞き議論するシンポジウム※2については、１市３町の首長会議で話し合い、１市３町としての考えを示していくことを考えている。しかしながら、現在は、事業計画が示されず、状況に変化がないことから、首長会議を開催するには至っていない。

シンポジウム※2
特定のテーマについて、複数の有識者が異なる視点から意見を述べ、聴衆も交えて質疑応答をする公開の討論会。



柳井市の意志決定について

Q　柳井市の意志決定はどのようなプロセスを経て誰が行うのか。

A　意思の決定は、執行機関の長が行うものであるが、一方的に決めるものではなく、民主的なプロセスを経て定まっていくと考える。

住民投票について

Q　賛否を問う住民投票を実施するか。

A　現段階において、予断をもって何らかの具体的な考えを持っていない。まずは国や事業者との質疑の徹底、近隣市町との広域的な連携、議会や市民による熟議のプロセスをしっかりと積み重ねていくことこそが最も優先すべきことであり、それを実現することが私の責務と認識している。



柳翔会
岡 龍一 議員

地域差によって交通弱者を出さないための対策を

予約制乗合タクシー導入について

Q　バス路線を継続しつつ、予約制乗合タクシーを余田地区に導入できないか。

A　既存の路線バスの利用や運行に大きな影響を及ぼさないことを前提として、制度上、併用は可能であると考えている。一方で、導入により、路線バスの利用者が減少することが想定されるため、防長交通株式会社と十分な協議・調整が必要となる。また、余田地区を通る路線は新庄、余田を通り田布施町までを結ぶことから、新庄地区を含めた検討と田布施町との調整が必要となる。導入に当たっては、地区社会福祉協議会などの地域団体が運行主体となるため、まずは地域のニーズや利用見込み、運行方法などについて十分に話し合いを重ね、地域としての合意形成を図ることが前提となる。その上で、関係者との協議・調整を行い、必要な手続きを進めていくことになる。今後、地域から具体的な相談をいただいた際には、導入の可能性を検討していきたい。

柳井市猟友会の人員確保について

Q　猟友会の人員確保に向け、どのように取り組んでいるか。

A　農業者や地域住民が市の窓口を訪れた機会に狩猟免許の取得や柳井市猟友会への加入を働きかけるほか、負担が少なく、捕獲活動に参加しやすい準会員制度のメリットについて周知し、会員確保につなげていく。



委員会レポート

委員会で審査された議案について、その経緯と概要を報告します。

委員会ってなに？



専門的に議案の審査を行うため、分野ごとに委員会を設置します。委員会では議案審査に加え、所管事務調査事項（調査テーマ）を決定し、課題解決や政策提言を目的に調査を行っています。

建設経済常任委員会

商工業、観光、農林水産業、都市計画、公園管理、道路建設などに関すること

所管事務調査事項

・インフラの維持管理について
・資源を生かした地域の活性化について

総務文教常任委員会

総合計画、地域づくり、財政、広報、防災、人事、選挙、監査、学校教育、生涯学習、スポーツなどに関すること

所管事務調査事項

・教育問題について

厚生常任委員会

住民票、税金、ごみ、環境問題、国民健康保険、介護保険、保育園、健康福祉などに関すること

所管事務調査事項

・市民生活に関わる社会福祉について
・環境に関する調査について

総務文教常任委員会

議案第 37 号 財産の取得について

Q　地域によっては、児童生徒に１人１台タブレット端末を持たせること等に対して、保護者から否定的な意見が見受けられるが、本市の保護者の反応は。

A　本市においては、そのような具体的な要望等は特にない。



議案第 38 号 令和８年度柳井市一般会計補正予算（第２号）

Q　平郡西地区コミュニティ施設整備事業が翌年度への繰越となる要因や、３か月ほどの延期で本当に応札者が見込めるのか。

A　中東情勢による資材価格の高騰や調達難、建築需要の増加に伴う担い手不足に加え、輸送コストや作業時間の制限といった離島の特殊性といった複合的な要因が重なり、年度内の完了が困難となった。12 月本契約の締結を目指していく。

Q　宿舎借上料について、何名分でどの程度の期間を想定しているのか

A　山口県東京事務所に研修派遣している職員１名、１年分の費用である。

建設経済常任委員会

議案第 27 号
柳井市道路占用料徴収条例及び柳井市法定外公共物管理条例の一部改正について

Q　電柱と電話柱で価格が違うのはなぜか。

A　電柱は高圧電線や変圧器を追加するなど、構造上の影響、社会インフラの性質上を考慮し、電話柱と比べて少し高めに設定されている。

議案第 38 号
令和８年度柳井市一般会計補正予算（第２号）

Q　姫田古市線を改修する理由は。

A　バタフライアリーナから柳西橋のほうへと続く市道は通学路となっており、朝と夕方は車の通行が多いことから、道路管理者として現地の現状を確認した上で判断した。

認定第１号
令和７年度柳井市下水道事業会計決算認定について

Q　下水道事業キャッシュフロー計算書の資金期末残高が資金期首残高よりも減っているが、資金期末残高はどれぐらいが適正か。

A　年間の資金需要を考慮すれば、約６億円が必要である。資金期首残高が期末残高より高いのは、令和６年度決算において、東土穂石雨水ポンプ場建設工事の未払金が、決算基準日以降になったことによるものである。



厚生常任委員会

議案第 28 号
柳井市印鑑条例の一部改正について

Q　対象者は何人いるのか。

A　住民票の登録のある外国人約 300 人のうち、印鑑登録している人に限られるので、対象者は少ない。

議案第 32 号
柳井市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

Q　児童等対象業務従事者に係る犯罪事実確認はどのようにされるのか。

A　こまもろうシステム※3という専用のオンラインシステムに照会し、確認するようになっている。

議案第 38 号
令和８年度柳井市一般会計補正予算（第２号）

Q　市民税の均等割が減り、所得割が増えた理由は。

A　確定申告書等の資料がそろい、賦課決定が行われたことに伴い、決算見込みを反映させた結果増額となった。



こまもろうシステム※3
学校や保育所などの事業者が職員の性犯罪歴を確認するためのこども家庭庁が管理・運営するシステム。

令和８年熊本地震への義援金を送付しました

令和８年熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

復旧・復興を祈念し、９月 24 日に柳井市議会から 15 万円の義援金を「九州市議会議長会　災害義援金口座」に送金いたしました。

被災された皆様の平穏な日々が一日でも早く戻ってくることを願っております。

12月定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
12/6	7	8 本会議 一般質問 10：00 ～	9 一般質問 10：00 ～	10 一般質問 10：00 ～	11 委員会 10：00 ～	12
13	14 委員会 10：00 ～	15 委員会 10：00 ～	16 委員会 10：00 ～	17 委員会予備日	18	19
20	21	22	23 本会議最終日 10：00 ～	24 皆さんの身近な課題が審議されています。本会議、委員会を傍聴してみよう！	25	26

※日程の詳細は 12 月１日（火）開催予定の議会運営委員会で決定されます。

議場見学を受け付けています！

市議会をもっと身近に感じていただけるよう、議場などの見学を受け付けています。

学校の社会見学はもちろん、各団体等での見学も大歓迎です。

ぜひお越しください！

WEB アンケートにご協力ください



よりよい議会だよりづくりのため、ＷＥＢアンケートを実施しています。質問は４個です。

ＱＲコードからご回答をよろしくお願いします。

編集後記

最近、地震や大雨などの災害が全国各地で相次いでいます。災害はいつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ、日頃からの備えが大切です。

非常持出品を準備したり、自宅周辺のハザードマップを確認したりして、どんな危険があるのか、避難所はどこにあるのか知っておくことが大切です。

この機会に、家族で防災について話してみませんか。

委員長　長友　光子
副委員長　ジョンソン彩奈
委　員　斉郷　孝
佐々木久美
中本　英宏
山本　澪馬

発行／柳井市議会　編集／やない議会だより編集委員会
〒742－8714　山口県柳井市南町一丁目10番2号
TEL（0820）22－2129
FAX（0820）23－6223
https://www.city-yanai.jp/site/shigikai/
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。